



文化祭のテーマ
最協

みんな笑顔
手本は先輩

旅人と我が名よばれん初しぐれ

松尾 芭蕉

松尾芭蕉は、「時雨(しぐれ)」という季語をことのほか愛した詠み人です。この句は、芭蕉が四十四歳の初冬に詠まれた句で、これからは、旅を自分の使命として生きていこうという覚悟が表れた句です。人生の長旅をどのように選択していくか。三年生にとって、そのスタートに立つ大事な時期です。三者面談で目標を確かにしてほしいです。「為せばなる」の気概でこつこつと。

逢ふ人に渡さむと抱く冬林檎

真保 喜代子

これから逢いに行く人に渡すために冬林檎を一つ懐に抱いています。その林檎はほのかに香っていることでしょう。相手への一途な思いとやさしさを冬林檎が象徴しています。秋の夜長に、受験勉強をがんばる我が子に母がむいてくれた林檎。眠さも吹き飛んで、心がしゃきとしたことでしょう。あたたかい励ましは、進路実現の壁を乗り越える大きな力になるはずですよ。

かごしまの教育県民週間 坂元中プライド

ウェルカム 坂元中 → 11月1日～7日 参観・交流週間

坂元中学校では、387人の生徒が夢挑戦の主角になることをめざし、みんなで文武両道の努力を続けています。また、校内がすっきりしている、生徒が落ち着いているなどの意見をいただきました。お忙しい中御来校いただきありがとうございました。



2学期期末テスト (11/20～11/22) 突破

文化祭・教育講演会など大きな行事が終わり、学習に集中できる時期となりました。テスト前の部活動停止期間中の取組、御家庭での取組はいかがでしょうか? 「あと一問」「あと3点」最後まで粘り強く取り組む姿勢(構え)が大切です。

創立40周年記念文化祭感動いっぱい「最協」達成

生徒会テーマ「記念の年を起点の年へー最協ー」をめざす生徒が堂々と本領発揮した行事です。

人前でも堂々と発表する姿。級友とともにゴールに向かってこつこつと積み上げてきた姿。ステージに立つ仲間のために裏方になって奮闘した姿。恥ずかしさを乗り越えてよさを発揮した姿。全てに拍手です。

来場者・観客の感想から(一部抜粋)

- 1 劇の内容に感心した。質が高い。うったえる力がある。感動した。
- 2 舞台発表者と聞き手との心のキャッチボールができています。集中力がある。
- 3 胸を張って役になりきっている。自分の果たすべきことをしっかり果たしている。
- 4 3年生らしさを感じた。坂元中学校で生きる力を付けてきたことがわかった。
- 5 ものおじせず一生懸命やりきる姿は輝いている。青春パワーをほめてあげたい。
- 6 いつの間にかこんな成長したのかという驚きと喜びがあった。
- 7 坂元中学校の生徒のよさを出し切った文化祭だ。誇りに思う。自慢したい。
- 8 展示作品もスケールが大きく、工夫も見られ、素晴らしいものばかりだった。



創立40周年記念教育講演会 バーバラ植村さんをお迎えして

バーバラ植村さんをお迎えして、「前向きに生きるために」という演題で、異国の地(鹿児島)に来て、言葉や習慣、子育てなどでたくさん悩んだこと、愛娘のAIさんのエピソードなど話していただきました。「できる」「大丈夫」「幸せ」の合言葉を胸に、前向きに生きる、笑顔であいさつをかわすなど日頃から実践しましょう。また、生徒の感想文からは、「自分の夢に向かってがんばりたい、夢をみつけない、バーバラさんの言葉を大切にしたい」など、とても前向きな感想が多く、素晴らしい講演会となりました。



PTA資源リサイクル 感謝!

好天に恵まれ、PTA資源リサイクルが実施できました。早朝より地域住民の皆様、保護者の皆様の御協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



